



年度末人事・定員に関する要求書提出交渉を、10月17日に

## 年度末人事要求書提出 「本人の希望尊重」

行いました。長時間勤務「教員不足」問題「教職がブラックだ」と見向きされなくなり、現場が崩壊するかもしれないと指摘されているもので、「教育の条件、人事」として、「本人の希望尊重」が守られてこそ、民主的な教育が進められることを大

阪市教は掲げてきました。教職員の勤務労働条件は、子どもの教育条件です。要求書の第1項は、「希望尊重の人事・人事異動を実現してこそ「教職員の意欲を高め、資質を向上させること」ができる。教職員の意見を尊重することを「教職員人事異動方針」

の基本とする」と。女性部は産休予定者の希望尊重、母性保護、保育所の配慮を引き続き行うこと、養護教職員部は複数配置、栄養教職員部は栄養教諭の配置増、臨時教職員部は正規教員を増やすことを要求。

「給食主任」の負担軽減、欠員状況を直ちに解消すること、「学校園における働き方改革推進プラン」の改定(案)は小手先、教職員増を要求しました。

「楽しく学ぶイングリッシュ」の分科会では、ランダムに書かれたAからZまでの26のアルファベットを使って、一枚の紙でできるいろいろなアクティビティを教えてもら

ました。また、参加者の知恵を出し合いゲームをしました。きらきら星やかえるの歌などの曲にアルファベットを載せて歌にして歌ったり、英語の絵本を紹介してもらったりしました。難しく考えずに指導者が楽しんでやるのが大切だと感じました。楽しい時間になりました。

事務職員部の分科会は、臨床心理士の高田菜美さんが仕事の楽しさを共有する人間関係をテーマに統合失調症の方と仕事を上での心がけについて講演。統合失調症も1人の人間である事により、大切なものはない。大切なものは病気を理解するのはもちろん、その症例者かどう分野に興味があり、何を得意としているのかを同僚と共有し役割分担を決めて仕事を進められる環境を作る事。多様な人と接する機会が多い学校に勤めている者として非常に感慨深い内容でした。

「市民党と統一協会の癒着をただし、支

## 大阪市教 教研

## 学び合おう そしてつながろう 平和 教育 女性の参加が重要

樋川和子さんの  
記念講演



第31回大阪市教育研究会が10月15日に行われました。全体会では、原水爆禁止世界大会広島に参加した青年教職員が報告し、宮城委員長が教職員のテーマである「学び合おう」として「つながろう」の呼びかけ、大阪市の教育の問題点を報告しました。樋川和子さん(大阪女学院大学教授)の記念講演「平和・女性・教育」があり

ました。樋川さんは元外務省職員として海外の大使館勤務。2015、17年にはイラクの大使館での勤務を経験。講演ではイラクでの女性たちが「自転車に自由に乗れない」など、社会的に弱い立場に置かれている現状や自身の経験を振り返り、「ジェンダー問題」に関心を持ったこと、紛争解決に女性の参画を明記した「女性・平和・安全保障に関する安保理決議1325号」など、女性の政治参加の重要性、大学生が「自己肯定感」の低さを乗り越えながら、国連主催のイベントに参加して入賞をしたことなど、様々な内容でした。参加者からは「女性ということがプラ

スになるようなお話をいただき、嬉しくなりました」など、たくさんの感想が寄せられました。●障害児教育分科会は、参加者から日々の実践での楽しいことや困っていることを語ってもらうことからはじめました。その後、青年の実践報告からみんな学びました。6年生になり、「僕はお兄ちゃん!」と低学年の友だちに関わる姿から、自信を持てるようになったきっかけ

や絵の変化と気持ちの動きなど参加者とともに考えていきました。また、4・27通知の捉え方についても学習しました。●「絵本・児童書から考える戦争と平和」の分科会では、元小学校教諭の潮見先生から、絵本の読み聞かせをしながら、平和を子どもたちに伝えていくことの大切さを教えていただきました。また、具体的な読み聞かせの方法や本の紹介もありました。絵本を読んでもらう心がじわっと温かくなり、読み聞かせの大切さを実感しました。絵本のもつ素晴らしさをぜひ実践でも活かしていきたいと思いました。

「楽しく学ぶイングリッシュ」の分科会では、ランダムに書かれたAからZまでの26のアルファベットを使って、一枚の紙でできるいろいろなアクティビティを教えてもら

ました。また、参加者の知恵を出し合いゲームをしました。きらきら星やかえるの歌などの曲にアルファベットを載せて歌にして歌ったり、英語の絵本を紹介してもらったりしました。難しく考えずに指導者が楽しんでやるのが大切だと感じました。楽しい時間になりました。

事務職員部の分科会は、臨床心理士の高田菜美さんが仕事の楽しさを共有する人間関係をテーマに統合失調症の方と仕事を上での心がけについて講演。統合失調症も1人の人間である事により、大切なものはない。大切なものは病気を理解するのはもちろん、その症例者かどう分野に興味があり、何を得意としているのかを同僚と共有し役割分担を決めて仕事を進められる環境を作る事。多様な人と接する機会が多い学校に勤めている者として非常に感慨深い内容でした。

「市民党と統一協会の癒着をただし、支

ました。樋川さんは元外務省職員として海外の大使館勤務。2015、17年にはイラクの大使館での勤務を経験。講演ではイラクでの女性たちが「自転車に自由に乗れない」など、社会的に弱い立場に置かれている現状や自身の経験を振り返り、「ジェンダー問題」に関心を持ったこと、紛争解決に女性の参画を明記した「女性・平和・安全保障に関する安保理決議1325号」など、女性の政治参加の重要性、大学生が「自己肯定感」の低さを乗り越えながら、国連主催のイベントに参加して入賞をしたことなど、様々な内容でした。参加者からは「女性ということがプラ

スになるようなお話をいただき、嬉しくなりました」など、たくさんの感想が寄せられました。●障害児教育分科会は、参加者から日々の実践での楽しいことや困っていることを語ってもらうことからはじめました。その後、青年の実践報告からみんな学びました。6年生になり、「僕はお兄ちゃん!」と低学年の友だちに関わる姿から、自信を持てるようになったきっかけ

や絵の変化と気持ちの動きなど参加者とともに考えていきました。また、4・27通知の捉え方についても学習しました。●「絵本・児童書から考える戦争と平和」の分科会では、元小学校教諭の潮見先生から、絵本の読み聞かせをしながら、平和を子どもたちに伝えていくことの大切さを教えていただきました。また、具体的な読み聞かせの方法や本の紹介もありました。絵本を読んでもらう心がじわっと温かくなり、読み聞かせの大切さを実感しました。絵本のもつ素晴らしさをぜひ実践でも活かしていきたいと思いました。

「楽しく学ぶイングリッシュ」の分科会では、ランダムに書かれたAからZまでの26のアルファベットを使って、一枚の紙でできるいろいろなアクティビティを教えてもら

ました。また、参加者の知恵を出し合いゲームをしました。きらきら星やかえるの歌などの曲にアルファベットを載せて歌にして歌ったり、英語の絵本を紹介してもらったりしました。難しく考えずに指導者が楽しんでやるのが大切だと感じました。楽しい時間になりました。

事務職員部の分科会は、臨床心理士の高田菜美さんが仕事の楽しさを共有する人間関係をテーマに統合失調症の方と仕事を上での心がけについて講演。統合失調症も1人の人間である事により、大切なものはない。大切なものは病気を理解するのはもちろん、その症例者かどう分野に興味があり、何を得意としているのかを同僚と共有し役割分担を決めて仕事を進められる環境を作る事。多様な人と接する機会が多い学校に勤めている者として非常に感慨深い内容でした。

「市民党と統一協会の癒着をただし、支

**仲間が増えた!**  
**教研集会参加、大教済加入**  
**年度末人事、声かけを**

前任校の同僚から声をかけられて教研集会に参加したAさん。集会の後の交流会にも参加し、意気投合してその場で大教済に加入しました。B分会からは「職場の方に組合加入を呼びかけ、入りたいということで現在検討中です」と報告がありました。

さて、まだ2学期半ばですが、来年度に向けての人事異動を考える時期が来ました。職場や知り合いの方に異動を考えている人はいませんか?年度末人事異動相談は組合加入にもつながっています。ぜひ声をかけてください。そして12月1日、2日に行う人事相談に誘ってください。あなたの職場でまず1人、組合員を増やしましょう。

## 母親大会

## 自民の改憲草案 家父長制推進

第67回日本母親大会in埼玉・群馬が10月15日、16日、オンライン併用で開催された。約1万4000人が参加しました。大阪市教は、現地参加とサテライト会場に参加しました。和太鼓のオープニングに続き、主催者あいさつで、舟橋初恵大会代表委員は「自民党と統一協会の癒着をただし、支